平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月6日

上場会社名　株式会社 タクミナ　　上場取引所　東
コード番号　6322　URL　http://www.tacmina.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 山田信彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経理部長　(氏名) 吉田裕　TEL 06-6208-3971

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,385	△2.5	△19	―	△12	―	△9	―
25年3月期第1四半期	1,420	△1.7	△11	―	△7	―	△6	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△1.54	―
25年3月期第1四半期	△1.11	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	7,858	4,214	53.6	676.66
25年3月期	7,992	4,316	53.9	693.12

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　4,208百万円　25年3月期　4,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	20.00	20.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,300	3.9	160	△7.5	160	△9.8	100	20.6	16.08
通期	7,000	3.8	600	25.5	600	16.5	380	26.6	61.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、3ページ【2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用】をご覧下さい。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	6,440,450 株	25年3月期	6,440,450 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	221,340 株	25年3月期	222,983 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	6,217,537 株	25年3月期1Q	6,204,834 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
なお、上記予想に関する事項は添付資料の3ページをご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間の経済環境は、米国経済に底堅さが見られるものの、欧州経済の低迷や新興国の成長率低下が、世界経済回復の下押し要因となっております。国内については、米国景気の回復と円安効果による輸出の改善や震災復旧などの公共投資により、回復の兆しが見えはじめたものの、企業の設備投資に対する姿勢には慎重さが根強く、回復力は脆弱にとどまりました。

こうした状況のもと、当社を取り巻く受注環境は、国内においては、景気対策の効果が顕著な業界があるものの、水処理プラントや民間工場の生産プロセスへの設備投資は全般的に低調でした。海外では、円安や景気回復を追い風にして北米地域が好調でした。

品目別では、定量ポンプのうち、水処理用の汎用ポンプが前年同四半期に計上したタイ洪水復旧需要の反動で減少しましたが、「スムーズフローポンプ（高精密ダイヤフラムポンプ）」が船舶搭載向けや塗工・電池などのケミカル・電子材料市場向けなどを中心に、中小型案件を積上げた結果、定量ポンプ全体の売上増加に貢献しました。

ケミカル移送ポンプは、前年同四半期計上の鉄鋼業界向け「ムンシュポンプ（高耐食ポンプ）」の大口案件の反動減が影響し、全体として売上高が減少しました。

以上の結果、当第１四半期累計期間の売上高は13億85百万円（前年同四半期比2.5%減）と減少しました。

利益面では、製品構成が付加価値の高い製品へシフトしたことや、為替の円安要因などにより売上総利益率が改善しました。また、製造経費の減少も貢献し、売上総利益は５億58百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。しかし、人員増や研究開発費の増加により販売費及び一般管理費が５億77百万円（前年同四半期比3.2%増）と増加したことから営業損失19百万円（前年同四半期は営業損失11百万円）、経常損失12百万円（前年同四半期は経常損失７百万円）、四半期純損失９百万円（前年同四半期は四半期純損失６百万円）とそれぞれ減益となりました。

品目別販売実績は次のとおりであります。

【品目別販売実績】

期別 / 品目別	前第1四半期累計期間（自　平成24年4月１日　至　平成24年6月30日）		当第1四半期累計期間（自　平成25年4月１日　至　平成25年6月30日）		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		%		%		%
定量ポンプ	748	52.7	780	56.3	32	4.3
ケミカル移送ポンプ	179	12.6	131	9.5	△ 48	△26.9
計測機器・装置	216	15.2	226	16.4	10	4.7
流体機器	101	7.2	93	6.7	△ 7	△ 7.9
ケミカルタンク	101	7.1	86	6.2	△ 14	△14.7
その他	74	5.2	67	4.9	△ 6	△ 8.8
合計	1,420	100.0	1,385	100.0	△ 35	△ 2.5

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて１億34百万円減少し、78億58百万円となりました。

流動資産は44百万円減少し、44億75百万円となりました。主な増減内訳は、現金及び預金の増加88百万円、売上債権の減少２億39百万円、棚卸資産の増加１億円であります。
固定資産は90百万円減少し、33億82百万円となりました。主な減少内訳は、有形固定資産の減少29百万円、投資有価証券の減少43百万円であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べて33百万円減少し、36億43百万円になりました。
流動負債は11百万円減少し、24億88百万円となりました。主な増減内訳は、仕入債務の減少70百万円、短期借入金の増加１億26百万円、未払法人税等の減少33万円、賞与引当金の減少88百万円であります。
固定負債は21百万円減少し、11億54百万円となりました。主な減少内訳は、長期借入金の減少19百万円であります。

また純資産は、前事業年度末に比べて１億１百万円減少し、42億14百万円となりました。主な増減内訳は、その他有価証券評価差額金の増加31百万円、四半期純損失９百万円に加え配当金１億24百万円の支払いによる利益剰余金の減少１億33百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は0.3ポイント減少し53.6％となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年５月８日の「平成25年３月期決算短信」で公表いたしました、第２四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第１四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	844,219	932,456
受取手形及び売掛金	2,943,425	2,704,369
有価証券	101,470	100,740
商品及び製品	48,874	64,739
仕掛品	826	1,887
原材料及び貯蔵品	469,997	553,328
その他	113,994	120,930
貸倒引当金	△3,116	△2,894
流動資産合計	4,519,691	4,475,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,195,113	1,173,188
機械及び装置（純額）	141,114	134,518
土地	595,128	595,128
その他（純額）	124,913	124,193
有形固定資産合計	2,056,269	2,027,029
無形固定資産	66,972	61,238
投資その他の資産		
投資有価証券	884,354	841,041
関係会社株式	9,840	9,840
その他	458,587	446,579
貸倒引当金	△3,058	△3,011
投資その他の資産合計	1,349,723	1,294,449
固定資産合計	3,472,965	3,382,717
資産合計	7,992,657	7,858,275
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,390,030	1,319,123
短期借入金	621,112	747,112
未払法人税等	36,880	2,894
賞与引当金	186,753	98,130
その他	265,500	321,700
流動負債合計	2,500,276	2,488,961
固定負債		
長期借入金	326,498	307,220
再評価に係る繰延税金負債	30,841	30,841
長期未払金	197,519	197,519
退職給付引当金	617,077	615,031
その他	4,357	3,906
固定負債合計	1,176,293	1,154,518
負債合計	3,676,570	3,643,479

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	892,998	892,998
資本剰余金	732,777	732,853
利益剰余金	2,677,587	2,543,672
自己株式	△111,328	△110,515
株主資本合計	4,192,035	4,059,009
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	119,720	151,604
繰延ヘッジ損益	39	－
土地再評価差額金	△2,374	△2,374
評価・換算差額等合計	117,384	149,229
新株予約権	6,666	6,557
純資産合計	4,316,087	4,214,796
負債純資産合計	7,992,657	7,858,275

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	1,420,540	1,385,275
売上原価	872,884	827,136
売上総利益	547,656	558,139
販売費及び一般管理費	559,491	577,598
営業損失（△）	△11,835	△19,458
営業外収益		
受取利息	2,140	2,549
受取配当金	4,673	4,463
投資有価証券売却益	137	1,419
為替差益	―	1,005
その他	3,127	2,018
営業外収益合計	10,079	11,456
営業外費用		
支払利息	3,477	2,919
売上割引	1,110	1,131
為替差損	986	―
その他	―	308
営業外費用合計	5,574	4,360
経常損失（△）	△7,330	△12,362
特別損失		
固定資産除売却損	398	―
特別損失合計	398	―
税引前四半期純損失（△）	△7,729	△12,362
法人税等	△871	△2,796
四半期純損失（△）	△6,858	△9,565

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。